

2018 年度 公益目的事業計画策定

1) 事業の概要について

移動病院（病院船・病院自動車等の移動医療施設）の実現に向けた、調査・研究の実施及び成果物の発表・広報を実施してきました。

* 災害大国の我が国において、病院船の実現は国民のいのちに直結する公益に資する必須の事業である認識の下、足らざる法整備、補うべき課題を精査し、運用改善等の提案を継続する。特に当法人からの申し入れによって、「パシフィック・パートナーシップ 2018」を主導する米海軍病院船 USNS マーシーを、歴史上はじめて日本に紹介する機会が初夏 6 月に実現します。戦後 72 年、多くの国民は病院船の存在を知らない中、広く国民に「動く病院」機能を知ってもらうことは、海洋国日本の災害医療の未来を考える上で、誰も成し得なかつた大きなターニングポイントを残せることは当法人の誇りであり大きな実績です。

◆ 米国病院船マーシーの東京寄港事業（1）クラウドファンディングの実施



世界最大級の病院船「マーシー」が 6 月に東京港に初寄港！

乗船を希望する中高生 25 名を被災地 5 県から募集

期間：2018 年 3 月 16 日 12:00～4 月 25 日 23:00 まで

-クラウドファンディング「Readyfor」にて企画実施費用 120 万円を募集-

東日本大震災の被災地である 5 県（青森県、宮城県、福島県、岩手県、茨城県）から、医療を志す中高生 25 名を招待し、病院船内部を見学できる（5 月公募）予定に沿って、現在希望するこどもたちの募集を準備しています。また、こどもたちの滞在費等の資金、120 万円を目標にクラウドファンディングサービス「Readyfor」にて 3 月 16 日よりプロジェクトを開始致しました。（URL：<https://readyfor.jp/projects/MercyJapan2018>）

このイベントが、海洋国日本の災害医療の未来を担う子どもたちにとって、大きな夢に舵を切るきっかけづくりになる、当法人の初めてのクラウドファンディング型公益事業として取り組んでいます。

《被災 5 県内の中学生、高校生限定》

- ・募集期間：4月 25 日まで
- ・乗船可能人数：25 名
- ・対象：東日本大震災被災 5 県の中学生、高校生
- ・応募 URL：<http://www.mobilehospital.org/>

〈クラウドファンディングプロジェクト概要〉

- ・プロジェクトタイトル：

「世界最大の米海軍病院船に、被災地から医療を志す子ども達を招待したい」

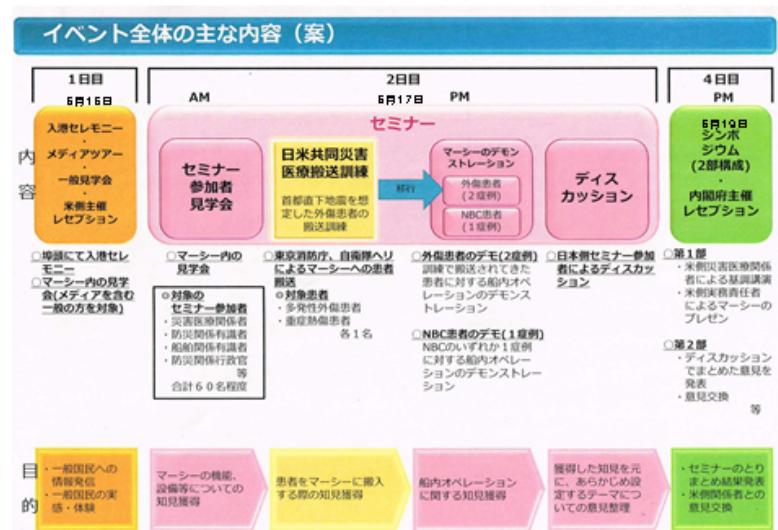
 - ・URL：<https://readyfor.jp/projects/MercyJapan2018>
 - ・目標金額：120 万円 ※目標金額に達しない場合、全額支援者へ返金されます。
 - ・募集期間：2018 年 3 月 16 日（金）～2018 年 4 月 25 日（水）23 時まで
- ※本プロジェクトは「寄付型」として寄付を募るタイプを選択してすすめる。

- ・事業の過程：「世界最大の米海軍病院船に、被災地から医療を志す子ども達を招待したい」海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟会長 頷賀福志郎、幹事長遠山 清彦、事務局長 津島 淳、特別賛同者 衆議院議長 大島 理森、公明党幹事長 井上 義久衆議院議員の要請と賛同を得て、当法人起案のマーシー寄港プロジェクトにとって、「もしあの時、日本に病院船があったなら...」をイメージできる地域を被災 5 県に選んで各県知事に協力の要請をして、進めるに至った経緯がある事業として取り組む。

(別紙 1. : 病院船_リリース被災 5 県政クラブ宛 .pptx)

◆ 米国病院船マーシーの東京寄港事業（2）研究調査事業

当法人起案のマーシー寄港時の取り組みメニューについて、下図のとおり実施する。



★参加当法人理事：跡見 裕（前杏林大学学長）研究総括座長

★参加当法人評議員：山口芳裕（東京 DMAT 運営協議会会長）研究 1 班班長

★参加当法人理事：砂田向壱 研究 3 班長

1. 病院船の機能、平時および有事における運用、法制度のあり方など、国民に正しい理解の増進を図るために、米海軍病院船 USNS マーシーの医療従事者をメンバーに（1. 船体病院の施設から、2. 医師から活動から）学習研究の実施。
2. 多数のメディア参加が期待でき、全国的広報効果が絶大である背景を利用して、当法人の活動の認知効果を高める調査の実施。
3. マーシー帰港後を前提に、日米シンポジウムの成果を「災害医療体制強化に必要な法整備の検討 PT」に関する海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟議員と検証するとともに、議員立法草案を 2019 年度に上申を目標に研究する。

◆平成 31 年度概算要求事業の検討

1) 議員立法草案の研究（別紙 2 : 180320 病院船議員立法案.docx）

2) 病院船（または災害時多目的船）の見本となる中古船改修等 PFI 事業予算の要求。

上記を以て、平成 32 年（2020 年）東京オリンピックを目標年次にステップアップを図る。

◆寄付金獲得アップ計画（寄付者へのお礼品デザインの推進）

寄付額のアップは近親者へのお願いには限界がある。今後を開拓する方策の一つとして、デザインを視覚に訴える戦術を試みるため、京都美術大学教授や日本郵便の協力を得て下図見本の切手、他を検討し寄付者に限り提供することで寄付金獲得を増やす計画の実施。

